

## モザンビーク危険情報【一部地域の危険レベル引き上げ】

### 【危険度】

#### ●カーボ・デルガード州

レベル2：不要不急の渡航は止めてください。（新規）

#### ●マプト州及びソファアラ州

レベル1：十分注意してください。（継続）

### 【ポイント】

●カーボ・デルガード州では、身元不明の武装集団による襲撃事件が頻発しており、「危険レベル2」を発出しますので、不要不急の渡航・滞在は止めてください。

●マプト州とソファアラ州では、一般犯罪や麻薬売買、外国人が被害者となる誘拐事件が時間や場所を問わず発生していますので、十分に注意してください。夜間の外出は避ける、日中に外出する際も周囲の状況に十分注意を払う等、自らの安全確保に努めてください。

●ソファアラ州を通る国道1号線及び同6号線の一部区間で車両が襲撃される事件が発生していますので、通行は控えるようお勧めします。

### 1. 概況

(1) 近年、モザンビークは高い経済成長を続けてきましたが、ここ数年は資源価格の下落に加え、対外債務問題の発生による経済情勢の悪化や所得格差の拡大を背景に、強盗、誘拐、性犯罪、空き巣、車上荒らし等の犯罪が多発し、治安の悪化が社会問題になっています。また、モザンビークでは1992年の内戦終了後も、内戦で戦った政府与党フレリモと野党レナモの間には政治的な緊張関係が存在し、レナモ支持の強い北中部地域の一部では、政府軍や警察とレナモ党武装集団との間で衝突が発生してきました。2016年末に対立の一時停止が合意されるなどの成果がありました。野党指導者が2018年5月に死亡したため、今後の対話の展開に注視する必要があります。

(2) カーボ・デルガード州では、2017年10月以降、各地で頻繁に襲撃事件が発生しています。治安機関等により警戒が強化されていますが、突発的な襲撃事件に遭遇したり、巻き込まれる危険がありますので、同州に「危険レベル2」を発出します。ついては、不要不急の渡航・滞在は止めてください。

(3) ソファアラ州では、2014年6月にレナモ党武装集団による車両襲撃事件が多発し、死傷者が出て以降、2016年末までの間にソファアラ州、マニカ州、ザンベジア州及びテテ州の国道1号線、6号線及び7号線で民間を含む通行車両が襲撃される事件が頻発しています。

(4) 過去にはパンやガソリン等の値上げにより大規模な暴動が発生し多数の死傷者が出た

他、マプト、マトーラ両市において乗合バス（シャパ）の料金値上げに伴う抗議行動が発生し、一部地域ではタイヤを燃やし道路を閉鎖、投石するなどの混乱が起きています。今後も経済的要因で同様の混乱が生じる可能性が排除できません。

（５）これまでに、モザンビークにおいてテロによる日本人の被害は確認されていませんが、近年、シリア、チュニジア、バングラデシュにおいて日本人が殺害されるテロ事件が発生しています。また、テロは、日本人が数多く渡航する欧米やアジアをはじめとする世界で発生しており、特に、近年では単独犯によるテロや、一般市民が多く集まる公共交通機関等（ソフトターゲット）を標的としたテロが頻発していることから、こうしたテロの発生を予測したり未然に防ぐことが益々困難となっています。

このようにテロはどこでも起こり得ること及び日本人が標的となり得ることを十分に認識し、テロの被害に遭わないよう、海外安全ホームページや報道等により最新の治安情報の入手に努め、状況に応じて適切で十分な安全対策を講じるよう心がけてください。

## 2. 地域別情勢

### （１）カーボ・デルガード州

レベル２：不要不急の渡航は止めてください。（新規）

各地で多くの襲撃事件が発生しています。その多くについて、イスラム過激派の関与を疑う報道がありますが、実態は解明されていません。2017年10月にモシンボア・ダ・プライヤ郡で身元不明の武装集団が警察署を襲撃する事件が発生し、同年12月にはパルマ郡の行政局及びナンゲーデ郡の診療所が襲撃され多数の死者が発生しました。同事件後、警察当局がこれまでに起きた襲撃事件の容疑者数十人を逮捕したことで、事態は沈静化したと思われましたが、2018年6月以降、同集団はパルマ郡、マコミア郡、キサंगा郡、ナンゲーデ郡の村を次々と襲撃し、数百棟の家屋が焼失、数十人の市民が死亡しました。

つきましては、同州への不要不急の渡航・滞在は止めてください。渡航せざるを得ない場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください。

### （２）マプト州及びソファアラ州

レベル１：十分注意してください。（継続）

#### ア マプト州

強盗、誘拐、性犯罪、住居侵入、車上狙い、スリ、ひったくり、置き引き、麻薬売買等が時間、場所を問わず発生しており、日本人が被害に遭う事例も年々増加しています。常に周囲への注意を怠らないなど十分に注意することが重要です。特に最近では中国人等の外国人も被害者となる誘拐事件が頻発している他、警察官による恐喝も発生しています。夜間外出は避ける、外出する際には周囲の状況に十分注意を払う等、安全確保に努めてください。なお、犯罪手口の詳細については「安全対策基礎データ」を参照してください。

また、車両保有者の増加、交通マナーの悪化により交通事故が急増しています。車両運転の際は十分注意してください。

## イ ソファアラ州

マプト州同様に、強盗、誘拐、性犯罪、住居侵入、車上狙い、スリ、ひったくり、置き引き、麻薬売買等が時間、場所を問わず発生していますので、同地域に赴く場合は、周囲の状況に十分注意してください。特に国道1号線及び同6号線はこれまでムシュンゲ・サヴェ間やニヤマパンザ、レナモの軍事拠点のあるゴロンゴザ郡などで車両が襲撃される事件が発生していますので通行は控えてください。

これらの地域への渡航に当たっては危険を避けるため特別な注意が必要です。

## 3. 滞在中の注意

滞在中は以下の事項を踏まえ、十分留意して行動し、危険を避けるようにしてください。また、日本国外務省、在モザンビーク日本国大使館、現地関係機関・報道等より最新情報を入手するよう努めてください。

ア 銃器やナイフなどの武器を持った強盗に遭遇した時は、生命に危険が及ぶ可能性がありますので、抵抗せず、また相手を刺激するような行為や言動は避けてください。

イ 銀行やATM等から現金を引き出した直後に強盗に襲われる事件が発生しています。人通りの多いショッピングセンター内であっても安心できません。特にATMから現金を引き出す際は周囲の状況に注意を払うようにしてください。

ウ 自動車に乗車する際は、赤信号等での停車時における強盗被害が発生していますので、ドアをしっかりロックし、窓を開放しないでください。また、乗り降りの際にも周囲に気を配ってください。

エ 走行中の車に対し、パッシングや手を振るなどあたかも車両に異常が発生しているように思わせる、または自らの車に事故や怪我人が発生しているように装い停車させる等の手口による強盗事件が発生していますので注意してください。

オ 国内を陸路で移動する場合には、できるだけ2台以上の車両で移動することをお勧めします。パンク時や悪路に車輪を取られた際に長時間停車していると強盗被害に遭う可能性が高く危険です。

カ 最近の治安悪化及び交通取締りの強化に伴い、警察機関による検問や職務質問が強化されています。外出の際は、身分を証明するもの（現地の身分証明書、旅券の原本、運転免許証等を必ず携行してください。

キ ホテル周辺での強盗被害が発生しています。高価そうな腕時計等は身につけず、金持ちにみえるような服装で出歩かないようにしてください。また、単独行動や徒歩での移動は避け、できる限り複数で、タクシーなど車で移動するようにしてください。

ク 暴動やデモ等に巻き込まれることのないよう注意するとともに、混乱による店舗の閉鎖や物流がストップする事を想定して10日分程度の食料、水、医薬品、燃料等を普段から備蓄しておくことをお勧めします。

ケ 不測の事態が発生した場合には、自宅や職場（旅行者の場合はホテルや旅行会社）等の安全な場所に行き、事態が収拾されるまで待機して在モザンビーク日本国大使館に連絡し

てください。

コ 雨季（10月～3月頃）には局地的な豪雨に伴う、河川の氾濫等の被害が発生します。滞在、移動の際は、現地の最新情報を入手するよう心掛けてください。

サ 海外渡航の際には万一来に備え、家族や友人、職場等に日程や渡航先での連絡先を伝えておくようにしてください。

3か月以上滞在される方は、在モザンビーク日本国大使館が緊急時の連絡先を確認できるよう、必ず「在留届」を提出してください。

3か月未満の旅行や出張などの際には、渡航先の最新の安全情報や、緊急時に在モザンビーク日本国大使館の連絡を受け取ることができるよう、外務省海外旅行登録「たびレジ」に登録してください。

(<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/index.html> )

4. 隣国の南アフリカ、ジンバブエ、ザンビア、マラウイ及びタンザニアの危険情報にも留意してください。

(問い合わせ先窓口)

○外務省領事サービスセンター

住所：東京都千代田区霞が関 2-2-1

電話：(代表) 03-3580-3311 (内線) 2902, 2903

(外務省内関係課室連絡先)

○領事局海外邦人安全課 (テロ・誘拐関連を除く) (内線) 2306

○領事局邦人テロ対策室 (テロ・誘拐関連) (内線) 3047

○海外安全ホームページ

<https://www.anzen.mofa.go.jp/> (PC版)

<https://www.anzen.mofa.go.jp/sp/index.html> (スマートフォン版)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/m/mbtop.html> (モバイル版)

(現地大使館連絡先)

○在モザンビーク日本国大使館

住所：Av. Julius Nyerere, 2832, C. P. 2494, Maputo, Mozambique

電話：21-499819～20

国外からは (国番号 258) 21-499819～20

FAX：21-498957

国外からは (国番号 258) 21-498957

ホームページ：<http://www.mz.emb-japan.go.jp>